



報道発表資料

山形労働局発表
平成25年9月27日（金）

担	山形労働局労働基準部
当	健康安全課長 東海林 薫 課長補佐 三浦 敏幸 電話：023-624-8223

労働災害防止や安全衛生水準の向上に功績が認められた事業場等を山形労働局長が表彰

— 山形県産業安全衛生大会開催 —
10月1日～7日は全国労働衛生週間です

【ポイント】

1 山形労働局長表彰

- ・ 優良賞（1事業場）
- ・ 奨励賞（3事業場）
- ・ 安全衛生推進賞（1個人）

2 平成25年度山形県産業安全衛生大会

- ・ 主催：山形県産業安全衛生大会実行委員会
（県内の労働災害防止関係団体により組織）
- ・ 後援：山形労働局、山形県、河北町
- ・ 日時：平成25年10月8日（火）13時20分～16時40分
- ・ 場所：河北町総合交流センター サハトベに花

3 平成25年度全国労働衛生週間

- ・ 全国労働衛生週間：10月1日～7日（準備期間9月1日～30日）
- ・ 昭和25年から実施され今年で64回目
- ・ 平成25年度のスローガン
「健康管理 進める 広げる 健康職場」

1 山形労働局長表彰について

山形労働局長は、毎年度、労働災害防止や安全衛生水準の向上等について特にその功績が認められた事業場及び団体を表彰することとしています。

本年度表彰される事業場等は以下のとおりです（文中敬称略）。

賞の授与は、山形県産業安全衛生大会（詳細は下記2参照）において実施します。

優良賞（1事業場）・・・安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場に対する表彰

- ・ けいそうこうぎょう かぶしきかいしゃ やまがたこうじょう
啓装工業 株式会社 山形工場（安全確保対策）

山形市蔵王松ヶ丘1-2-2

表彰事由：

「基本的な安全活動を継続する」意識を社内全体で共有し、リスクアセスメント活動等新たな活動についても計画的に導入・実施している。

安全衛生委員会での職場巡視により指摘した改善事項については、「見える化」による資料を作成し、全労働者が共通した認識を持つよう工夫している。また各職場においては、毎週「5Sパトロール」を実施。日常的に危険個所の排除を徹底しており、必要に応じてリスクアセスメント活動を行い、その結果を安全衛生委員会において吸い上げ、全社的な対応を行う等の連携した活動を行っている。また、平成11年より休業災害は発生していない。

奨励賞（3事業場）・・・安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範と認められる事業場に対する表彰

- ・ かぶしきかいしゃ いりうだこうじょう
株式会社 たかはたファーム 入生田工場（安全確保対策）

東置賜郡高畠町大字入生田100

表彰事由：

安全衛生管理規定に基づき、安全管理者、衛生管理者、産業医の巡視等の活動が適切に実施されており、また、安全衛生委員による所属部署以外への巡視を毎月行い、改善活動に努めている。また、安全衛生委員会においては、年間安全衛生計画の進捗管理等が適切になされており、PDCAサイクルによるスパイラルアップを図っている。

リスクアセスメントは、実施体制の整備、教育等を実施し、平成24年度から本格的に実施している。

食品加工用機械に起因する休業災害の発生はないものであるが、リスクアセスメント等の結果を受け、旧型の機械を積極的に新規機械に更新することによって、安全性・作業性の向上に努めており、また、作業手順書についての安全教育、習熟度確認等を行うことによって、平成16年6月から無災害を継続している。

- ・ ほしかわけんせつ **星川建設** かぶしきがいしや **株式会社** (安全確保対策)
最上郡金山町 1939

表彰事由：

経営トップをはじめとして経営首脳陣らが、安全衛生委員会、安全パトロールなど率先して安全衛生管理活動に参加している。

リスクアセスメントを中心に、法令を上回る対策を講じ災害防止に努めるなど、自主的な安全衛生管理活動を推進している。これらの活動に労使一体となって継続して取り組むことにより、平成13年6月から11年間、無災害を継続している。

- ・ せいやく **ペーリンガーインゲルハイム製薬** かぶしきがいしや **株式会社** (健康増進対策)
東根市大字東根甲 5353-1

表彰事由：

安全衛生委員会が中心となって心の健康づくり計画を策定し、目標を設定して達成するための各職制に応じた取り組みの推進を図っている。

労働者及び管理監督者への教育の実施、産業医等の外部講師を招いての研修実施、あるいは外部講習等への積極的参加を行い知識を習得し、組織的体制づくりを行っている。また、必要に応じ産業医がストレス調査票を使用して職場環境の評価を行っているほか、全労働者に対し半年毎に職場環境アンケートを実施し、メンタルヘルスの一因ともなりうる職場環境の改善を図っている。また、職場復帰プログラム等の冊子を作成し、組織的サポートの概要や復帰までのフォロー体制、相談窓口の設置等について関係労働者へ教育を実施している。

心の健康以外、身体健康面においても2次健診までの費用を事業場負担とし健康管理のフォロー活動を積極的に実施しているほか、時間外労働の目標を定めて組織全体として取り組みを推進している。

安全衛生推進賞 (1個人) ・ ・ ・ 長年にわたり安全衛生活動を活発に推進し、その地域の安全衛生水準の向上に顕著な功績のあった個人に対する表彰

- ・ すずき としお **鈴木 敏夫**
大東建設株式会社常務取締役、西村山地区建設店社災害防止協議会会長

表彰事由：

平成17年から建災防西村山分会の災害防止企画委員として同分会の労働災害防止活動の企画、運営に関わり安全衛生管理に係る事業主・担当者の研修会、リスクアセスメント普及のための研修会、安全パトロールを実施するなど西村山地区の会員事業場の安全衛生水準の向上に尽力した。

平成12年4月に西村山地区建設店社災害防止協議会の担当となり積極的に活動し、平成21年からは同会長となる。山形署の労働災害防止団体連絡会議に参加し、「県下一斉安全パトロール」、「冬の労災をなくそう運動」等の局・署が提起する取り組みについて、建災防西村山分会と連携しながら会員事業場の労働災害防止活動と西村山地区全体の建設現場の安全衛生水準の向上に尽力した。

建設工事発注部署と連携し、現場の安全パトロールにおいて現場担当者、発

注機関職員等にきめ細かい安全指導を実施し、西村山地区内の建設店社及び現場に対して法令改正の周知徹底、指導等に尽力した。

2 平成25年度山形県産業安全衛生大会について（別添1参照）

事業者及び労働者の安全衛生意識の高揚を図ることを目的として、山形県産業安全衛生大会が開催されます（参加予定者約600名）。

山形労働局（局長 須永^{すなが}敏良^{としろう}）は、大会の後援を行うとともに、大会において山形労働局長表彰を行うこととしています。

- (1) 大会名称 平成25年度 山形県産業安全衛生大会
～山形ゼロ災3か月運動推進大会～
- (2) 主催 山形県産業安全衛生大会実行委員会
後援 山形労働局、山形県、河北町
協賛 一般社団法人山形県医師会、一般財団法人全日本労働福祉協会東北支部、公益財団法人やまがた健康推進機構、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会山形支部、公益社団法人日本作業環境測定協会東北支部山形県分会
- (3) 日時 平成25年10月8日（火）13時20分～16時40分
- (4) 場所 河北町総合交流センター サハトベに花
(西村山郡河北町谷地所岡三丁目1-10)

3 平成25年度全国労働衛生週間について（別添2、3参照）

(1) 趣旨

全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高め、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的に毎年実施され、昭和25年の第1回以来、本年で第64回を迎えます。

(2) スローガン

平成25年度のスローガンは、近年、過重労働による健康障害やメンタルヘルスの不調などの健康問題が重要な課題となっていることから、労働者自身や管理監督者、産業保健スタッフが一丸となって健康管理を進め、労働者の心とからだの健康が確保された職場の実現を目指すことを表す、

「健康管理 進める 広げる 職場から」

で、324点の応募作品の中から決定されました。

(3) 実施事項

- 事業者、総括安全衛生管理者による職場巡視
- 労働衛生旗の掲揚、スローガンなどの掲示
- 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症などによる事故・緊急時の災害を想定した訓練